

開会

【都市経済部次長あいさつ】

第4回検討委員会では、都市計画の目標に掲げた守山市版「コンパクト・プラス・ネットワーク」、将来都市構造、土地利用の方針および地域別構想の各方針を中心に多くの御意見をいただきました。いただいた御意見を踏まえ修正を行いましたので、本日再度協議をいただきたいと思っております。

また、第4回検討委員会では、目標を提示するにとどめていた中心拠点ゾーン、市民交流ゾーンおよびレインボーロード沿道ゾーンの三つのゾーンについて、今回は、具体的な方針を示しております。各ゾーンについては、今後10年間で特に土地利用を進めていきたいと考えており、この三つのゾーンについては、地域別構想の方針として記載しきれない所があるので別で記載をしています。ゾーンの記載も含めて地域別構想の協議をお願いいたします。

委員の皆様には忌憚のない議論をお願いいたします。

報告事項 前回検討委員会の振返り等

協議事項(1) 守山市版「コンパクト・プラス・ネットワーク」および全体構想について

【主な意見】

(土地利用の方針について)

- ・何がエリアで何がゾーンであるのかを、①エリアの説明に入る前に加えた方が良い。
⇒今も記載をしているが、少し工夫をする。

(景観形成の方針について)

- ・景観類型区分でゾーンが出てくる。土地利用の方針もゾーンとしているため、混同するのではないかと。
- ・他の都市では、ここまで細かく都市マスに記載していない。都市マスで決めている範囲と、それを踏まえて景観計画でこうなっているということが分かるような整理が良い。
⇒景観形成方針図があるので、このあたりで留めておくこととしたい。

協議事項(2) 地域別構想について

【主な意見】

(ゾーンの構成について)

- ・中心拠点ゾーンが別ページで始まるが、目次構成でどういうつながりになるのかがよく分からない。
- ・例えば、「ゾーンについては、より詳細に記載する」という記述を入れれば、網羅感があるのではないかと。
- ・エリアの下にゾーンがあると考えない方がいいかもしれない。エリアとゾーンは、並列でいいかもしれない。
⇒全体構想の土地利用の方針と同様に、エリアを先に説明してから、まとめてゾーンを説明するように修正する。

(中心拠点ゾーンについて)

- ・「一番魅力ある」の魅力は、何なのか。文章からすると、「訪れたい、滞在したい」という

外部の人向けの魅力であると取れる。目指すところは、住む人、市民にとって住みたくなるまちの玄関口として魅力があるということではないのか。

- ・中心市街地が住みやすく、魅力が出てくればいいはずなので、目標は、「駅前」にこだわらなくてもいいし、「一番」でなくてもいいのではないか。

⇒従来から取り組んできた市民向けに都市機能の集積を図ることと、新たに取り組んでいきたい部分を分けて記載するよう修正する。

- ・南部都市地域の都市づくりの目標があり、南部都市地域の中に中心拠点ゾーンが含まれているので、中心拠点ゾーンの目標については、南部都市地域の目標を更に強化するなど、関連性や階層構造を分かりやすく示した方が、位置付けが分かりやすい。
- ・ゾーンの方針について、言いたいことを記載しているという印象を受けたため、これまでの流れと同様に、記載のルールがあると良い。

(特定の企業名について)

- ・大きな出来事ではあるものの、特定の企業名を都市マスで出すことは、適切ではない。

(市民交流ゾーンについて)

- ・「自然」というフレーズが出てくるが、自然というと森林、山、琵琶湖等大規模なイメージがある。市民交流ゾーンは、自然はそれほどなくて、木々、田、畑等程度である。
- ・都市と自然が融合して、人々が交流することを目指しているはずである。水と緑が残されて交流できるように思ってしまうので、土地利用の方向性は、はっきりとゾーンの中に多様な施設を呼び込んでくるということを記載しないと誤解を招くのではないか。

(地域コミュニティの担い手の課題について)

- ・守山市の課題を整理した中で中長期的課題として、「人口減少・少子高齢化でも豊かさを維持する仕組みの強化」を挙げているが、地域別構想の中でそれを受けて、施策の方針が示されていないのではないか。
- ・全体および地域別構想の課題としてコミュニティや自治会のことを挙げているので、第7章の推進方策等で対応を示すべきである。

閉会